

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスLiebe北外山			公表日		7年 3月 21日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		死角ができない様、必要に応じて椅子やテーブルを移動させ、広いスペースを確保しています。	
2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。		6		人員基準を満たし、お客様の利用人数や活動内容に応じて人数調整をしています。			
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		5	1		手すり等の設置はありませんが、今後利用者様に応じて、可動式スロープや手すりの設置を検討していきます。		
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		6		毎日数回施設内の清掃、家具やおもちゃの消毒を行っています。また数時間毎に換気を行うことや空気清浄機を設置して清潔な空間を保つように心掛けています。			
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		6		パーティションを使用し個別の空間を作ることや相談室の使用をできる環境にしています。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		日頃から業務改善についてスタッフ間で話し合い、その都度振り返りや改善案を出し合っています。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		年に一回保護者向けアンケートを実施し、ご意見を頂いた際には業務改善できる様話し合っています。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		朝礼や終礼、月例会議等で常に職員間での意見を交換し業務改善につながるよう努めています。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	5		評価機関にて施設を評価していただき、業務改善につなげていけるよう努めています。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		外部研修はもちろん、当施設ではeラーニング研修制度を取り入れています。			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		支援プログラムについては作成、公表を行っております。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		個別支援計画書を作成する流れに沿ってアセスメントや保護者様のニーズを取り入れながら作成しています。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		会議等で共有し共通理解をしたうえでの支援を心掛けています。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		支援計画を全職員で共有し把握したうえで支援を行っております。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		アセスメントを取り支援をしていく事はもちろん、日々の行動観察を細かに記録しお子様の適応行動の状況を確認、把握しています。			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		ガイドラインに沿って具体的な支援方法を個別支援計画書に記載しています。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		種目ごとに担当スタッフが活動案を出しています。また、スタッフ全員で活動内容について話し合っています。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		毎月新しい案を出しています。また、お客様のリクエストを活動に取り入れて楽しめるように工夫しています。			

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		日々の集団活動にプラスしてお子様の状況に応じて個別支援も行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		朝礼時に全スタッフで申し送りや一日の流れ、支援内容を共有、確認しています。また、LINEWorksを使用し情報共有を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	一日の振り返りや支援内容の課題についてはLINEWorksを使用し情報共有を行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		HUGを使用し送迎や支援内容、お子様の様子等を記録し、間違いがないようスタッフ間でチェックをしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		全スタッフで定期的にモニタリングを行い、個別支援計画書の目標設定について見直しの判断を行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6		行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		行っています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		担当者会議にはお子様の状況を把握しているスタッフが参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		保育、学校とは情報や支援方法を共有しています。	今後、さらに医療機関等とも情報共有を密に行えるよう体制を整えていきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1	必要に応じて対応しています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	3		前例はないが、情報共有を行う体制は整っています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	3		今後機会を設けていきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	5		今後機会を設けていきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	4		機会があれば積極的に参加していきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		お子様のデイでの様子を送迎時だけでなく連絡帳にてお伝えしています。また、LINEを通して保護者様と情報共有を行っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3		口頭で支援の助言を行うことはありますが、プログラムとしては行っていないため、今後支援を行えるよう体制を整えていきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時に契約書に沿って説明を行っています。また、問い合わせがある際は迅速に説明を行うことを意識しています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		送迎時や、LINE等で保護者様にニーズを伺うことはもちろん、支援をする中でお子様の意見を聴取する機会を設けています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		個別支援計画書の内容を保護者様に確認していただき、同意を得たうえで支援を行っています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		送迎時に保護者様にお悩み等ないか伺っています。	今後、ご希望に応じて定期的に面談する機会を作ったり、LINEや電話、HUGを通してお話を聞きまして支援させて頂けたらと思います。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6		季節のイベントで親子参加活動を取り入れ、その中で保護者同士の交流機会も設けています。	兄弟間での交流機会はまだ実施できていないので、今後機会を設けていきます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		対応しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		HUGやLINEを通してイベントのご案内をしています。また、インスタグラムや紙面、ホームページでのお知らせも行っています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		SNSで発信する際はお客様の個人情報に十分注意しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		絵カード等を用いて意思疎通がスムーズに行える様に工夫しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6		夏祭りや運動会など地域住民と交流を持てる機会を設けていく事を検討しています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		防災マニュアルはHUGにてお知らせしました。	その他マニュアルにつきましても随時お知らせしていきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		月に一度防災マニュアルをもとに避難訓練を実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6		契約時に必ず保護者様に確認しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		医師の指示書をご提出していただいた際はそれに基づいた対応を行っています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		安全計画を作成した上で支援を行っています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	2		安全計画については保護者の方にも改めてお知らせし連携が図れるよう努めます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		月に1回以上は事例を共有し、対策を検討しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		虐待防止の研修を社内で行い適切に対応できるよう努めています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		やむを得ず身体拘束を行う際には子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画書に記載しています。		